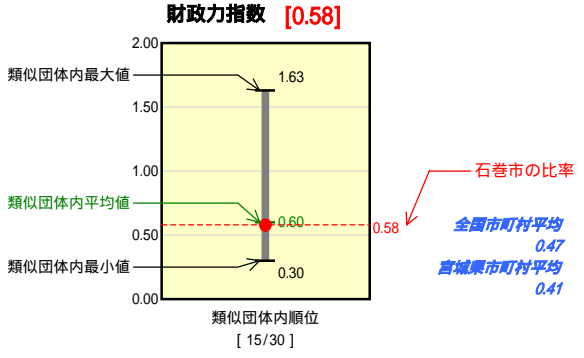


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

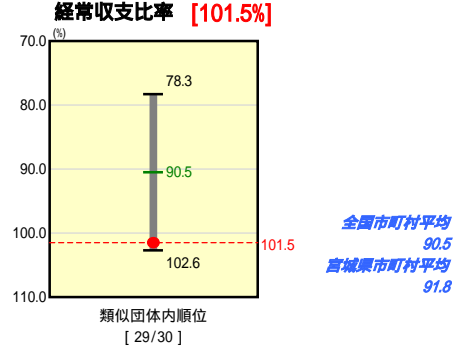
宮城県 石巻市

人口	116,923人(H17.3.31現在)
面積	137.26 km ²
歳入総額	36,294,328千円
歳出総額	36,446,058千円
実質収支	-151,730千円

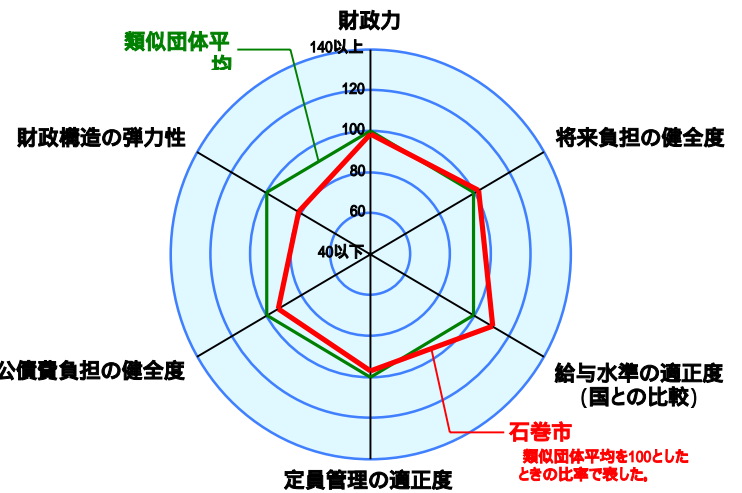
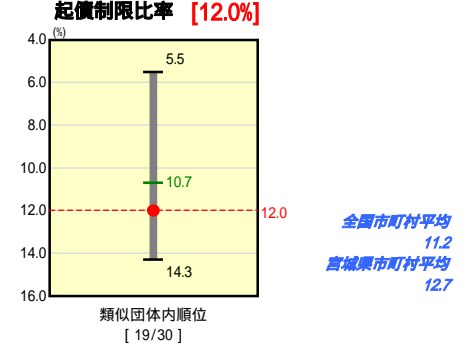
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
・長期化する景気低迷や雇用情勢の悪化による市民税や新增築の伸び悩みなどによる固定資産税の影響により、類似団体平均を0.58と下回っている。平成17年4月の市町村合併により、新市として策定した行政改革大綱をもとに、施設の統廃合や廃止、定員管理・給与の適正化等に取り組む財政の健全化を図る。

経常収支比率
・平成16年度は、打ち切り決算という特殊要因もあり、赤字決算ということで類似団体と比べてもかなり高い数値となっているが、通常ベースでの増減の要因としては、普通交付税、臨時財政対策債の減額による経常一般財源の減によるものが大きく影響している。内訳で最近の増加傾向をみると、公債費や特別会計への公債費繰出の割合が高いため、地方債の積極的な借換等により償還金の増減等に努める。

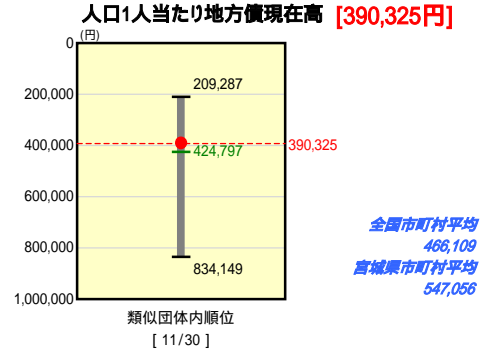
ラスパイレス指数
・特殊勤務手当の廃止、見直し等により抑制を行ってきたが、旧来からの給与体系により全国市平均を下回っていたものの、類似団体と比較すると高い水準にある。合併に伴う旧団体との給与の調整はあるものの、勤務成績を反映させるような人事制度を構築するとともに、給与の適正化を図る。

起債制限比率
・ここ数年は、財政健全化プログラムにより、起債事業の抑制等により年々数値は下がっているものの、全国平均と比べると0.8ポイント高い数値となっている。今後は、新市において策定される総合計画等に基づき、投資的経費の平準化を図り、新規発行の抑制に努める。

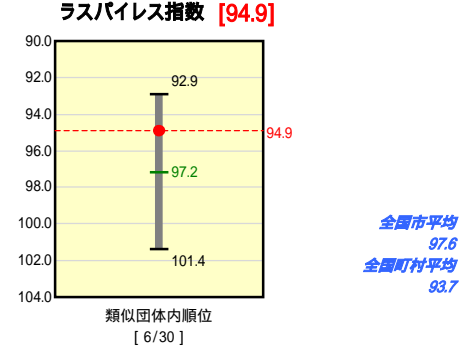
人口1人当りの地方債現在高
・近年の大型事業の抑制により、全国平均、類似団体平均とともに下回ってはいるが、合併に伴う新規事業等により地方債の発行増が見込まれるため、更なる投資事業の見直しを図り適正な財政運営を行い地方債残高の抑制を図る。

人口1,000人当たり職員数
・宮城県市町村平均の数値とほぼ同じ数値となっているが、合併に伴い職員数も多くなることから、職員定数適正化計画を策定し、新規採用退職者のバランスを考え(10年で500人削減目標)、少数精鋭による行政運営の効率化を図る。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

